



大山祇神社

歴史的には三春論山争いや戊辰の役など興味深いものが語りつがれています。村には、造り酒屋、鍛冶屋、窯場などがあり、自給自足のできる豊かな村だったそうです。特に山仕事は盛んで、伐採業、炭焼作業のために大勢の人が山に入りました。

その燃料（薪）があつたので製鉄もやつてました。いまでもカナゲ石が出てくる所がありますよ。

また、その薪は製塩のため

に浜まで運ばれましたね。

ここは相馬藩と磐城藩の境いだつたので、昔はその警護のために、武士が住んでいたせい、教育熱心な土地柄でありますね。

◆◆◆◆◆

大熊町を端から端まで 知りつくそう！

〒979-1306 大川原地区です。

字名は南平、西平、手ノ倉があります。阿武隈高地のふもとに位置する地区です。

志賀友定さんにお話を伺いました。

戸数は約百二十戸、先祖代々の旧家が多く、ここ数年、戸数の増減が無く、住んでは住みよい所です。地区的住民同士、お互いのことは良くわかつているので、もめごともなく、平和なところです。

近年では、坂下ダムの建設があり、この地区の名所になりました。それに日

隠山の登山道の整備によつて、毎年、山開きには大勢の人が集まり、この地区も賑やかになりました。日隠山まで道中には名所、遺蹟などがあつてこらの人だけが毎年仲間うちで、登つては下で芋煮会をして楽しんでいたんだが、もつと町民に知らせようと、最初、下刈りをして登山道をつくつた時は、もう、たいへんだつた。往くときは意氣揚揚、帰



◆民話の里

この地区には昔から語りつがれてきた民話がたくさんあります。

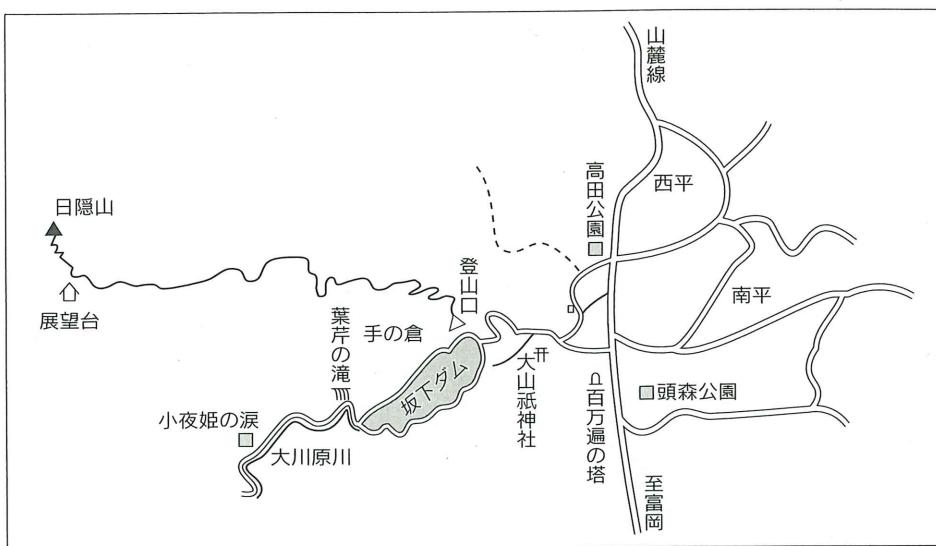
これにまつわる遺蹟も多くの、地区の人々に守られ、信仰されています。

◆◆◆◆◆

百万遍の塔——地蔵坂の鬼婆——たんぞうの柿の木——野上の飛び付き観音までを民話街道と呼んでいます。また、ここから日隠山を通つて中屋敷—古道—船引—三春へと続く道を塩の道と呼んでいたと言われています。

◆日陰山

毎年初夏に山開き、600人以上の人々が山頂をめざす。地区をあげての協力体制で、豚汁がふるまわれ、観光スポットになっています。



大川原川の渓流は釣りファンの穴場でもあり、四季折々、すばらしい景色です。早朝は川霧が立ち、奥入瀬渓流の風景にも劣らないすてきなスポットがあります。

又、民話「美女泣かせのせせらぎ」にまつわる、「小夜姫の涙」の清水はテレビなどでも紹介され、民話ブームの発端となりました。

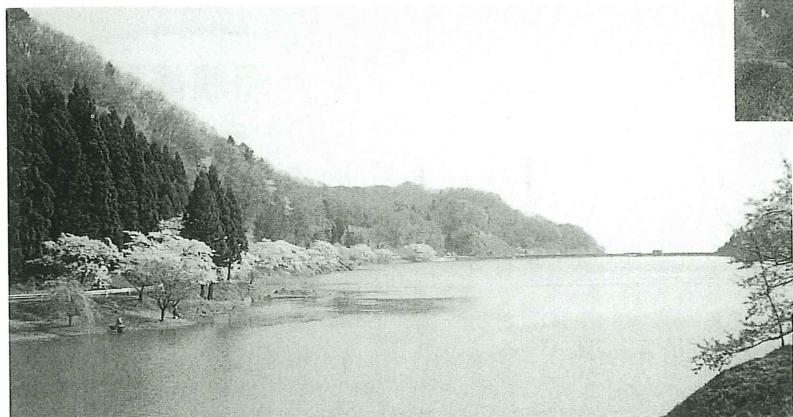
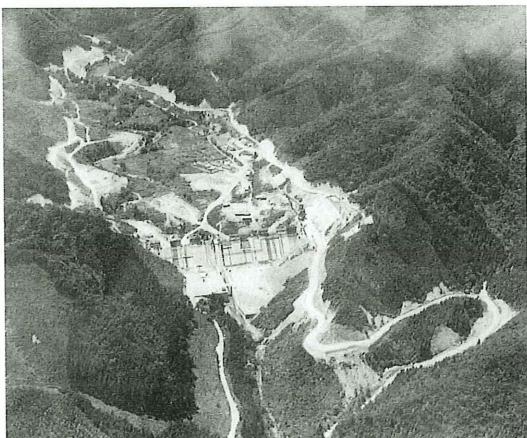


大川原川の上流

銘水「小夜姫の涙」



建設中の坂下ダム



春、桜の名所となるダム湖

◆坂下ダム
(昭和四十八年度完成)
農業は養蚕や葉たばこが中心だったが、水田が多くなった。
兼業農家が多くなり、生活が変わった。

◆坂下ダム

(昭和四十八年度完成)

農業は養蚕や葉たばこが中心だったが、水田が多くなった。

兼業農家が多くなり、生活が変わった。